



ありんこ便り

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報

2019 年
6月21日発行
通巻第 36 号

「ありの会」へのご意見・ご要望は 〒192-0355 八王子市堀之内1236-8 社会福祉法人由木かたくりの会気付「ありんこポスト」までに郵送するか、「ありんこポスト」に直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 <http://arinkorenrakug2.xrea.com/> 》です。

第9回ありの会 通常総会が開催されました

5月18日（土）13：30より、フレスコ南大沢の生涯学習センターにて、第9回通常総会が開催されました。出席者31名、委任状39名、合計80名で、会員総数94名に対して3分の2以上に達し、総会は成立しました。議長の中島様の議事進行の下、滞りなく全ての議案につき可決されました。

- (1)開会の辞
- (2)会長のあいさつ
- (3)議長選出
- (4)議事
 - (4-1)報告事項
 - ① 平成30年度事業報告（荻野副会長）
 - ② 平成30年度収支決算報告（黒澤会計担当）
（補足説明；ガーデニング費用は全て法人及び八王子市からの協力より充当）
 - ③ 監査報告（坂元監査担当）
 - (4-2)決議事項
 - 第1号議案 平成30年度事業報告、決算報告の承認
 - 第2号議案 2019年度役員の承認
 - 第3号議案 2019年度活動方針、事業計画（津田会長）、収支予算案の承認（黒澤会計担当）
（補足事項；「ありの会」の規約に基づき、会員、利用者、職員の10日以上入院に対して見舞金が支給される為、遠慮なく申し入れていただきたい）
- (5)開会の辞



◎ スライドショー「1年間を映像で振り返る」が上映されました

フェスタかたかご、給食試食会、学習会、長沼生活介護、長沼グループホーム見学会、かたくりガーデンなど、日頃の利用者の皆さんや会員の活動が紹介され、特に新たに発足した長沼での生活が印象的でした。

◎ 意見交換会では1時間以上にわたり活発な議論が展開されました

日頃感じていること、ありの会への提案、法人への提案、今困っていることをお互いに共有し、お役に立てることを願い、この場を設定しました。主なやりとりは以下の通りです（詳細は「ありの会」HPを参照下さい）。

1) 保護者や兄弟が亡くなられた利用者のケアについて（事前アンケートより）

- ・**会員**：保護者は『親心の記録』等に、ある程度どのようにしてほしいか残せるが、亡くなった後、利用者にはどのような心のケアや対応をしているのかを知りたい。
- ・**会長**：同じ悩みを持たれている方もいらっしゃるはずなので、法人に問い合わせしてみたい。個人情報に関することなので本人の承諾を得た上で情報を共有できればと思う。
「親なきあと」学習会講師・渡部伸先生主催の「親なきあと相談室ネットワーク」でも事例があれば伺うことにする。

2) フェスタかたかごについて（事前アンケートより）

- ・**会員**：昨年初めて参加したが、新しい方の参加が少ない。
「仕事の都合」「家庭の都合」「かたくりの活動にあまり興味がない」「魅力的な出し物がない」「内容がマンネリ化している」「既に保護者同士のグループが出来上がっていて入りづらい」辺りが不参加の理由ではと推察するが、このまま固定された方だけを頼りにしていくのには限界があり、利用者の年齢が上がるということは保護者も同じ様に年齢を重ねているということだ。
そこで福祉を学んでいる学生ボランティアを入れていただくことを法人との話し合いで検討するのは難しいだろうか？準備の段階から体力的にも男性の力仕事が必要だったり、お母様方の細かい目線が必要だったり、当日よりも準備の段階でエネルギーを使う。学生ボラさんに2～3日入っていただけたらスムーズな準備も出来る上に、若者が入ることによって新しい風が入るのではないかな。
- ・**会員**：何度かフェスタの話し合いに参加したが、法人側もあまり積極的でない気がする。近くに大学も多く、大学生も福祉を勉強してなくても関心のある人はいるはず。
- ・**会員**：以前、一休という法政大学の太鼓ボラが入ってくださっていたが、今はない？
法人もたまに大妻の学生さんを連れて来るが、子供達よりもイベントのサポートに回ることが多い。
フェスタの日のサポートは職員か親。利用者も若いお兄さんお姉さんの方が楽しいと思うし、活気づく。
- ・**会員**：ボラに関しては当初から法人に要請しており、職員の中には問題意識を持っている方もいるが、来てほしい時に来てくれるわけではない。大学と日常的にパイプを太くし継続してやっていくしかない。皆で問題意識を持ち、日常的な業務の中にボラを組み込んでいく、という作業時間を敢えて作っていかないとなかなか難しいのではないかな。
- ・**会長**：ボラについては、近くに大学があるのに活用しない手はない。例えばフェスタと学園祭のコラボや学園祭でかたくりの授産品を販売する等、きっかけさえ掴めば、何らかの方法があるだろう。
今、大学では福祉に関してのカリキュラムが増えてきていて意識も高まっている。
今後法人とともに、大学へのアプローチを心がけていきたい。

3) 土日のグループホームについて（挙手により）

- ・**会員**：グループホーム（以下 GH）は平日のみですか？土日はどうなっていますか？
- ・**会員**：土日 GH に居ることも、事前申込すればスタッフの配置も可能。お出かけは不可。食事を一緒に買いに行く位は可能。
- ・**会員**：GH 堀之内は当初住民との間でドタバタがあったが、最近は地域の連絡協議会とも上手くいき、徐々に理解を得られるようになった。
作業所が日中のサービスなのに対して GH は平日の宿泊型サービス。土日は家に帰る。
営業的に考えるとフルでやらないと収入の問題もあるし、堀之内に関しては徐々に理解を得られては

いるが、住民側には土日に利用者が近辺をフラフラと歩き回ることにご懸念があるようだ。かといって、世話人がぴたり付いて歩く配置もとれないので、移動支援等を利用しながら日中過ごしていただきたい。徐々に、「予め申し込みをして土日も利用」という形に移行しつつある。

- ・**会員**：以前、GHは満室だと伺ったが、その後空きは出ましたか？
- ・**会員**：堀之内も長沼も満室。かたくり以外にもあるので、市に問い合わせてみてはいいかな。

4) グループホームの増設、ショートステイの設置を希望する (事前アンケートより)

・**会員**：自分の長期入院の際にかたくり内にショートステイ (以下SS) があればよかったと実感したので昨年の法人事業計画説明会で提案したところ、否定されてしまった。利用者のニーズに応えるのが法人の役目ではないか。遠方に住む親の介護等で子供を預ける必要がある場合にSSがあれば安心して行ける。送迎の心配もない。親自身が体調を崩すこともあり、皆様はどのように思われますか？

・**会長**：この件に関しては、理事長名で書面で回答していただき、その内容を「ありんこ便り」(10/12発行第33号)に掲載している。法人側は以下の3つの理由を挙げている。

- ① 慣れた職員に見てもらいたい、とのことだがその支援体制が出来ていない。
- ② 職員の意識とスキルがそれに伴っていない。
- ③ 稼働率の問題。赤字を出すわけにはいかない。

「あくまで現時点での見解であることをご理解ください。」との回答であった。

当然のことながら、作業所・SS・GHがワンストップで提供されるというのが理想であることは間違いないが、法人としては、限られた人材・経営資源の中で何を優先するか判断だろうと思う。

特に、昨年10月にGH、4月に生活介護が開設されたばかりのこの時期では、その余裕がないというのが実情であろう。

家庭・作業所・GHのうち、利用者が、家族のいる家庭から、次第に仕事の間である作業所、生活の間であるGHへ、自立するために軸足を移して行く過程で、SSは有効であると思う。

ニーズが高いことは法人側も充分認識しているところであり、今後とも提案し続けていきたい。

・**会員**：GHを考えた時、親としてすごく悩んだ。自分が元気なうちなら、どういう所で生活しているのかを見届けることが出来る。いざ親が見れなくなった時にGHを使いたいと思っても「東京都では無理です。」と言われる。遠くのGHだと、その子がちゃんとやっているかを見届けるのは難しい。SSを経験してGHへ移行する。SSをそういうステップとして考えれば利用はあるのではないかな。いきなりGHとなると不安になるかもしれないが、SSでかたくり職員が見てくれる、となると安心感もあると思う。

・**会長**：ちなみに、この中で今、GHに入ってもらっちゃう方やGHに入りたいと思っていらっしゃる方を含めて、SSがあればいいと思っていらっしゃる方、あれば利用したいという方はどの位？

⇒ 大多数が挙手。

・**会員**：昔、ぷらさ2階で月1回、「自立プログラム」というので大学生がボランティアで入りお泊り体験をしていた。作業所からそこへ帰って、夕食の献立を大学生と一緒に考えて買い出しに行き、食事をする、というのをやっていた。かたくりがスタート出来たのも大学生ボラのおかげと言っても過言ではない位、大学生にはお世話になった。

・**会員**：SSの需要は潜在的にはあると思うが、法人サイドに立って考えると、稼働率がどの位になるのかが見えないとリスクはある。もっとパイを大きくするしかない。堀之内・長沼あといくつか作ってリスクの要因を薄めていく努力が必要だ。

待っていても5年先10年先になるかわからない。利用希望者数の具体的な数字を示して要求していくとか。法人もその年にどうしろ、と言われても答えようがないと思うので、中長期的な計画の中で、そのために今は何をすべきか出していだければと思っているが、なかなか今までは上手くいっていないのが現実。

・**藤井副会長**：制度上、GHに一旦入るとSSは使えないと思う。かたくりにSSを作ってほしいと言うが、利用可能なのは現在GHに入っていない人、ということになる。また、「かたくりの利用者のために」と作っても、多分そうはいかず広く開放しないとイケなくなるだろう。

・**会長**：新しい事業を始めるには、人材・スペース・資金の問題があるので、すぐには叶わないと思うが、継続して提案していきたい。

とりあえず、SSのあるGHと業務提携し、当方からも職員を派遣する等のコラボレーションならば5年10年と待たなくても出来る可能性はあるように思う。

皆様からいろいろなアイデアを頂きながら法人と詰めていければ、様々なやり方があるのだと思う。
諦めるのではなく、我々も一歩踏み出すことを考えていけたらと思う。

5) 交通事故防止のために (挙手により)

- ・**会員**：夫が正門の方から車を出そうとして車を止めた状態で右折しようと待機中、トンネル側から来た自転車のよそ見をしていた高校生に突っ込まれた。そこで坂道には何本か鉄の棒みたいな障害物を立てておくとか、注意が必要であることを認識させる方策を行政に出していただけないか？
- ・**藤井副会長**：この高校生は2点の誤ったことをしている。
自転車は左を通らないといけない。次に自転車は基本的には車道を通らないといけない。
行政にお願い出来ることがあるとすれば、「自転車は右を通らないようにしましょう。」とかたくりのちよっと上の方に書いてもらうとか。
- ・**会長**：最近は高齢者を中心に痛ましい事故が相次いでいる。若い母親が子供を乗せて電動アシストで走る。いくら行政側に指導をお願いしても不特定多数の高校生全員にそれを徹底させるなんてことは不可能に近い。法人とも相談が必要だが、まずは自己防衛せざるを得ない。正面から出ると、信号が気になって歩道からの自転車をうっかり見過ごしてしまう。必ず裏に回って、信号が切り替わるのを待って、出るようにしている。障害物によってスピードを落とさざるを得ないような工夫をするか。
- ・**会員**：それは早急に必要だと思う。毎日送迎していて、本当に切実だ。かたくりの運転手の皆様にも同じ危険性がある。坂の上に保育園が出来て、保育園のお母さんでさえ結構危険な自転車の乗り方をしている。スピードが出せないような状況に持って行っていただきたい。
- ・**藤井副会長**：具体的な例としては、歩道を2～3メートル位の延長にわたって盛り上げて、茶色等にペイントを変える。下り方面からかたくりの車の出る所辺りまで。バンプ（隆起の意）を八王子市に作っていただくよう要請するのはいかがでしょうか。
- ・**会員**：それだけでは怖いので、自転車があそこに来たら降りないまでもブレーキをかけて、なおかつ前を見ていなければ進入出来ない状態にしてほしい。
- ・**会長**：行政には法人とともに、「この場所で事故が頻発している。高校生・大学生の自転車が猛スピードで坂を突っ走って行く為、その防止策」を申し入れることにする。
- ・**会員**：車だけの問題ではなくて、正門を出てバス停の方へ向かう利用者もたくさんいる。出た瞬間に自転車にはねられる可能性もある。この何日間か岸田さんが利用者を送り出すため正門前に立たれていた。ご自身もひかれかけたことがあるとのこと。その件も含めて要望していただけたらと思う。
- ・**会員**：それだけではなく大学生があそこ大きな車道を歩いて横断もする。
あそこを出る時に信号のある左側ばかり気にしていると、斜め横断の大学生もいてすごく危険。
- ・**会員**：大学生の自転車が結構スピードを出して危ない思いを何度か経験している。
自転車はスピードを落とさないと進入出来ない逆U字型の柵みたいな物（銀色の、川の緑道から自転車が道路へスーっと出て行くのを防止したりするためのもの）を設置すれば自転車が出っ切ったり出来ないのではないかな。

◎ その他連絡事項

- 1) 「ありの会」ホームページの紹介（会場の会員の大多数が日頃よりHPを閲覧）
「ありんこ便り」のバックナンバーや役員会議事録を収録。見かたは「ありんこ便り」第35号参照下さい。
パスワードはローマ字で「*****」（実際のパスワードは役員会へお問い合わせ下さい）。
- 2) 懇親会、意見交換会について
全員集まる機会はなかなかない。最近、「かたくりの家周辺ハイキングマップ」ができた。近郊の公園を巡る周辺マップだが、「お花見ウォーキング」を企画するとか利用者を含めて楽しめる場、情報や悩みを共有できる場を設定できたと思う。良いアイデアがありましたら、ありんこポストあるいは役員に提案していただければと思います。

今回も積極的な意見交換ありがとうございました。

◎ 退任役員からのご挨拶 ～長い間ごろうさまでした。ありがとうございます。

旧副会長 中山誠一： 本来役員の任期は2年ですが、今年4月から在外勤務になってしまったため、昨年度1年間だけ副会長を務めさせていただきました。こうした保護者会の役員をさせていただくのは人生初の体験でしたので、任務をきちんと遂行できるか最初はとても不安でした。しかしながら、津田会長をはじめ、ワークグループの三島さん、備前さん、副会長の荻野さんや、他役員の皆さまに支えられて何とか最後まで務めることができました。この場をお借りして皆さまに感謝申し上げたいと思います。

昨年度1年間の活動を振り返って、言えることは「楽しかった」の一言です。役員の皆さんのチームワークがとても素晴らしく、議論や作業していて本当に楽しかったです。人生でとても貴重な体験をさせていただきました。また、今まで子供や自分達の将来について率直に話す機会は、正直あまりありませんでした。しかしながら、今回ありの会の活動に参加させていただいたおかげで、こうした機会をたくさんいただき、様々なことを気軽に相談できる「仲間」に出会えた気がします。心から感謝です。1年間ありがとうございました。

新規役員の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします！

旧副会長 荻野明子： ありの会会員の皆さま、旧役員の皆さま2年間大変お世話になりました。役員になった当初は副会長でありながらも、右も左も分からず、パソコンも出来ずどうなる事かと思いましたが、周りの方々に支えられ2年の任期を終える事が出来ました。他部署の利用者さん、保護者の皆さんと知り合うことができ、今では利用者さんが私を覚えてくれるようになり、かたくりへ行く事が楽しくなりました。そして職員の皆さんとも気軽に話をする事ができるようになり月1回の役員会の際には我が子の相談に乗ってもらう等、お得感もありました。2年間の役員任期は正直長く、大変なこともありましたが終わってみるとかたくりへ出向く機会が減り少し寂しい気さえしています。これからはありの会の一会員としてご協力していきたいと思っています。2年間ありがとうございました。

旧書記 藤澤敏江： 2年間、書記を務めさせていただきました。在任中は、大変お世話になり、有難うございました。役員にならなければ、わからなかったことも多々あり、いい経験をしました。これからも、ありの会をよろしくお願いいたします。

旧会計監査 坂本幸子： 会計2年と監査1年を担当させて頂いた坂元です。1年目は前担当者と一緒に活動させていただいて、何とか2年間やる事が出来ました。それ以上に役員になったことで、まったく読む事がなかった規約を読み、目的・意義を知りました。気持ちの負担はありましたが、それ以上に色んな事を学んだ3年間でした。

旧会計（新会計監査） 黒澤良子： 2年間、会計をしてきて大変勉強になりました。今年度は新役員が4人加わり、ありの会の活動も活発になると期待しています。よろしくお願いいたします。

◎ 新任役員からのご挨拶 ～これから よろしく願います。

新副会長 三島愛里： 今年度、副会長としてお世話になります。わたし自身は、2016年度から2年間副会長を務めさせていただき、昨年はワークグループで、主に事務作業のお手伝いをさせていただきまして、今年度2期目で副会長を務めさせていただくことになりました。息子の大切な居場所であるかたくりの会に、家族の立場に関わらせていただけることが有難いです。役員間のもとより、会員の皆様、利用者の皆様、法人職員の皆様とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。どうぞよろしくお願い致します。

新副会長 藤井康幸： この度、副会長を仰せつかった藤井康幸です。どうぞよろしくお願いいたします。子は社会人2年目、通所も2年目です。したがって、私も同年数であり、会員の皆様よりもわかっていない点が多くあると思います。通所先における事業の体系、広くは障がい者福祉など、これを機会に様々に勉強していきたいと考えています。親どうしがつながり、親と法人の信頼関係がいっそう高まると、この上なく心強いことと思います。そんな役員会になるように、他の役員の方と力を合わせて参ります。

新書記 野中綾： 今年度より書記を務めさせていただきます野中 綾と申します。広島出身のカープ女子？です。息子もまだ新卒2年目で、かたくりのこともありの会についても理解しきれておらず一人右往左往状態ですが、

これからの2年間でいろいろ吸収させていただこうと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

新会計 鈴木砂織： この度会計を仰せつかりました鈴木と申します。会計の仕事は初めてで、至らないこともあるかと存じますが、皆様にご指導いただき務めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

新会計 水戸直美： この度、会計を仰せつかりました水戸です。分からない事が多く、ご迷惑をお掛けする事があると思いますが、皆様に教えて頂きながら、頑張っってやって行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

かたくりの会 法人事業説明会が行われました

法人事業説明会が5月10日13:30~15:00に「かたくりの家」2F 食堂で開催されました。

はじめに、各部署の管理者と責任者の紹介がなされ、その後、小金淵統括管理者より配布された事前に提出された質問に対応する回答についての説明と自由な質疑応答がなされました。最後に、部署ごとにテーブルに分かれ、各部署の管理者と責任者との意見交換が行われました。ありの会会員の参加人数は43名でした。

事前に提出された質問に対応する回答（全3頁）は欠席された方にも配布されているのでそちらをご覧ください。以下、事前に提出された質問に対応する回答についての説明後の自由な質疑応答の概要をお伝えします。

Q 食品加工について、外部に弁当を販売し収益を上げることで現在の昼食費500円を下げることを考えてはどうか。

A 現在の授産事業との兼ね合いがあるが、今後、検討したい。

Q 企業等で女性の幹部登用に取り組まれている。法人においてもその点を意識し人材育成に取り組んで欲しい。

A その通りに思っている。

Q B型の授産の件がでましたので、食品加工のほうでお昼のお弁当、それが授産事業になってますよね。法人がスタートしたときにここではできなかったの、とりあえず外部からとって1食500円で提供していたのです。でもよく考えると、コックさんの協力のもとで300円もかからずにできるというので、授産をスタートしたのですけれども、もう法人として10年以上たちますし、ここで内部でやりとりしているのではなくて、あくまでも外にむかって、やらないと進展がないのではないかと思うのですね。期も熟してますし、スタッフの方も増えてきていますので、知恵をしぼりながらそれにむけてやっていただきたいのです。で、2、3、近隣にきいたのですが、ほとんど300円以下で給食は提供している。ありの会の通信をみますと、(原価)280円かな？そのように書いてあったので、まあ300円は可能なのではないかな、と思う。親亡きあとの利用者の生活には、経費を抑えたほうがいいですし、是非早急に検討をお願いします。

A 食事提供加算をとることについては、数年前からいわれていたことなのですが、おっしゃるとおり、授産の事業との兼ね合いで決断ができていないところがあります。で、例年食品加工の利益というか、工賃に回す金額としては年間500万くらいはなるかと思しますので、その500万を別な形の授産事業で出していかなければ、今いる方の工賃は下がってしまうという現状がありますので、お時間をいただく形にはなるかと思いますが、またちがった授産の展開に関してはご質問いただいたように検討していきたいなと思っております。



全体での説明会



部署ごとの説明会

説明会の終わりに、津田会長から、5月18日のありの会年次総会において議事終了後に、自由な意見交換会をする旨がアナウンスされました。説明会終了後には、各部署で引渡し訓練を行いました。
なお、説明会では、このほどできあがった「かたくりの家周辺ハイキングマップ」が配布されました。

入会式と永年勤続のお祝い

4月1日10時30分より入会式が行われました。

5名の入会者をお迎えし利用者さん総勢94名の大部帯となりました。当日は各部署の代表の方々と来賓の方々そして職員の皆さんが参列され、皆さんからお言葉と利用者代表の方から花束贈呈、ありの会より永年勤続の方々の呼名をさせていただきました。

その後恒例の太鼓演奏が盛大に行われ最後に全員で記念撮影をしました。



永年勤続表彰をされた方々には法人より賞状、ありの会よりぶらさ de.かたくりのクッキー、商品券をお贈りしました。これからも「ありの会」として利用者皆さんの自立、充実した毎日が送れるよう法人、ご家族の皆さまとの橋渡しができればと思います。今後ともご協力お願いいたします。

ありんこ掲示板

「会員のコーナー」を新設します。利用者さんとの日常生活の中で、「えっ!」「まさか!」と驚きの声をあげた経験が何度かあるはずです。その都度、子供の成長ぶり(?)に驚き、その後の対処方法を考えたり、勉強させられたりしたこともあるのではな

いでしょうか? 会員の間での情報交換・共有の場にしたいと思います。たわいのない事でも、Twitterのように数行で構いませんのでどんどんつぶやいて下さい。

次回はパソコン、スマホにまつわる話題を中心に募集します。もちろん他の話題でも結構です。「こんなことがあった!」といった話題を「ありんこポスト」や「ありの会へのメール」が役員に是非お寄せ下さい。もちろん匿名でも記名でも結構です。お待ちしております。

◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

『親の知らないところで子がアマゾン発注をして慌てた話』

父親が職場でパソコンに向かっていて「ご注文ありがとうございました」とアマゾンからメール、えっ〜とみると、息子がいつもみている「おジャ魔女どれみ」の中古本。買い物をするには『ログイン→アカウントに入る→カートにものを入れ



る→注文確定のボタンを押す』の手順が必要です。それを一人でしてしまったのです。以前からこのパソコンで、アマゾンページのログイン欄にカーソルを合わせると、過去の入力が現れることは知っていましたが、大丈夫だろうとたかをくくっていました。その後、いつもと違うルートでの操作がされたという事で自動的にブロックがかり、注文先にも取り消しの連絡をすることができたので、事無きを得ました。

後日、子のパソコンをみると、ブロックした後に、家の電話番号をIDに入力して入ろうとしたような形跡があり、たいしたものだと思います。インターネットで便利に買い物のできる時代、皆さんもきっと似たようなエピソードがおありなのではないでしょうか。

藤井康幸（かたくりの家生活介護 F K）



壁の鉄道地図は、時刻表2冊をつぶして作ったものです。訪ねた場所をマーカーするのを楽しみにおり、旅行から帰宅すると、いつもまずはこの地図に真っしぐらです。電車好きでいろんなところに行くので、マーカーの数は相当なものになっています。

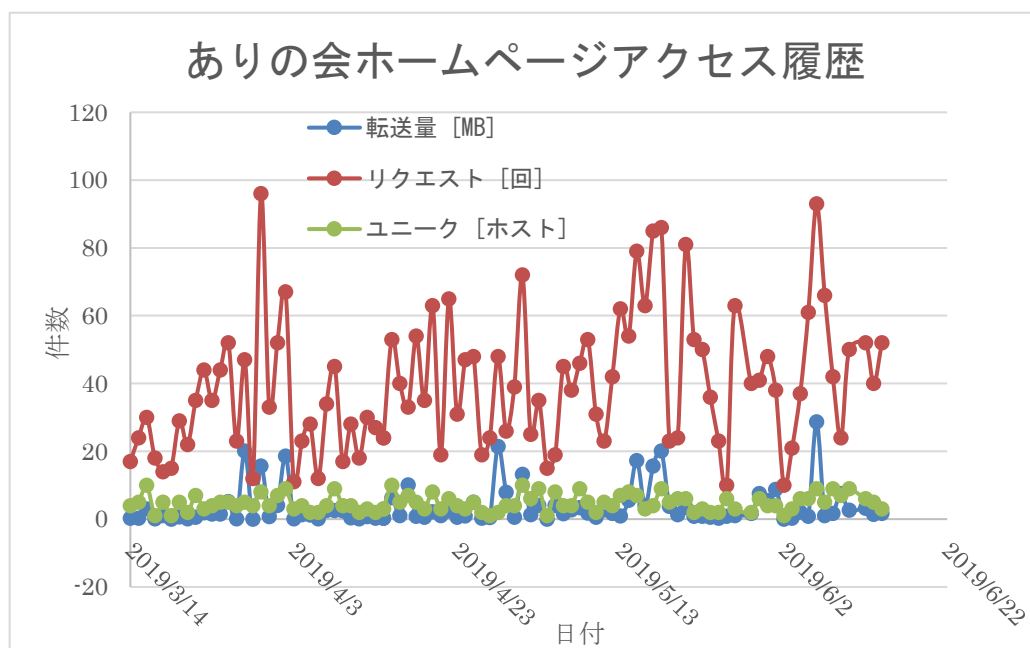
お知らせ

◎ 利用者さんの異動

6月1日付で入会 N Jさん 由木工房 食品加工部

◎ WGよりホームページの利用状況の報告

今年の3月14日にYAHOOからXREAに引っ越しをして3か月になります。ありの会設立とともにHomeページを開設していますが、アクセス状況はあまり芳しくありませんでした。途中からYAHOOがホームページのアクセスカウントを止めてしまいましたので、ながらく利用状況が全く分からない状態でした。引っ越し先ではアクセス履歴の情報が開示されていますので最新の利用状況が分かりました。



左の様に多い日には100件近いアクセスがあります。3か月累計で3625件、平均で39.4件/日です。会員と外部の方との区別はつきませんが、多くの方に見ていただいています。

これを踏まえて、より良いHPへと内容の充実を図りたいと思います。皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。